

科目ナンバー： 研究・CNS：MB1043／助産：MmB1043

授業コード： 6620000400

講義科目名称： 看護情報統計学

英文科目名称： Nursing Informatics and Statistics

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 助産師必修
担当教員			
◎永吉雅人			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎ 永吉 雅人	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 211	【メールアドレス】 nagayosi@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 共通基盤分野			
	研究 CNS 助産	【DP1】 ◎	【DP2】 ○	【DP3】 ○

到達目標	1. 看護研究および看護実践に必要な基本的な統計的分析方法を説明できる。 2. 看護研究および看護実践に必要な基本的な統計的分析方法を使うことができる。
------	---

授業概要	前半では、各々の研究テーマにおける統計的手法を用いた研究論文の紹介を行い、その統計的手法についてのディスカッションを通して、看護に関連する情報の特性、看護学研究および組織や地域活動での課題探索に必要な統計的分析を学ぶ。さらに後半では、前半で学修したことを、課題データを用いた自己学修を通して、実践的な能力を身に付ける。
------	---

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：看護と統計学の基本知識 1 学修内容：看護における統計学の基本知識 1 事前学修：事前課題に取り組み、統計学の基本について理解を深めておく。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉
	2	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：看護と統計学の基本知識 2 学修内容：看護における統計学の基本知識 2 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉
	3	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：看護と統計学の基本知識 3 学修内容：看護における統計学の基本知識 3 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉
	4	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：正規母集団の標本分布 1 学修内容：標本分布の特性 1 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉
	5	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：正規母集団の標本分布 2 学修内容：標本分布の特性 2 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉
	6	授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：正規母集団の標本分布 3

7	<p>学修内容：標本分布の特性3 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p> <p>授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：推定と検定1 学修内容：看護研究における推定と検定1 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
8	<p>授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：推定と検定2 学修内容：看護研究における推定と検定2 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
9	<p>授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：推定と検定3 学修内容：看護研究における推定と検定3 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
10	<p>授業内容 授業形態：講義・討論（遠隔） 学修課題：推定と検定4 学修内容：看護研究における推定と検定4 事前学修：講義中に次回講義までの事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
11	<p>授業内容 授業形態：講義・演習（遠隔） 学修課題：相関係数 学修内容：ピアソンの相関係数とスピアマンの順位相関係数 事前学修：講義中に事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
12	<p>授業内容 授業形態：講義・演習（遠隔） 学修課題：各種検定法1 学修内容：パラメトリック検定（平均の差の検定（対応あり・対応なし）） 事前学修：講義中に事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
13	<p>授業内容 授業形態：講義・演習（遠隔） 学修課題：各種検定法2 学修内容：ノンパラメトリック検定（割合の差の検定） 事前学修：講義中に事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
14	<p>授業内容 授業形態：講義・演習（遠隔） 学修課題：各種検定法3 学修内容：ノンパラメトリック検定（マン・ホイットニーのU検定とウィルコクソンの符号付順位検定） 事前学修：講義中に事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
15	<p>授業内容 授業形態：講義・演習（遠隔） 学修課題：各種検定法4 学修内容：単回帰分析と重回帰分析 事前学修：講義中に事前学修課題を指示する。 事後学修：講義内容を振り返り各自看護実践上の課題や関心に応じて新たな文献を精読する。 備考：永吉</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1に対して、プレゼンテーション50%、討論への参加25%により評価する。 到達目標2に対して、課題25%で評価する。
テキスト	指定しない。必要に応じて参考図書を使用する。
参考図書・資料等	1) 中村好一(2016):基礎から学ぶ楽しい保健統計, 医学書院. 2) 大木秀一(2016):基本からわかる看護統計学入門, 第2版, 医歯薬出版. 3) 及川慶浩(2012):はじめての看護研究 統計学編, メディカ出版. 4) 大木秀一(2011):量的な看護研究のきほん, 医歯薬出版.
受講、課題、資料配布等のルール	講義・課題用の資料等はメールもしくはどこカレより配布する。 欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。

教員からのメッセージ	積極的な質問・発言を期待する。
オフィスアワー	随時（メールで調整）